

証発 第6号
平成20年11月26日

証券会社
担保取扱責任者 殿

中部証券金融株式会社
営業部 証券課

貸借代用担保に係る確認テストの再実施について

拝啓 貴社ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、(株)証券保管振替機構（以下、「保振機構」といいます。）より、平成20年8月8日付で「株式等振替制度対応に係る業務確認テスト（運用・自由）手順書（全面稼働編）」が公表されておりますが、今般、当社は、同業務確認テスト第9回（12月6日、12月7日）の実施日に合わせ、下記のとおり貸借代用担保振替確認テスト、担保突合および特別株主申出簡略化に係る確認テストを再度行うことといたしましたのでご案内申し上げます。

なお、本テストは、自由テストの一環であり、過去日付の再現による実データの突合テストではありません。また、業務確認テスト第8回（11月15日、11月16日）で行われた突合テストが正常に完了した証券会社様は今回参加の必要はありません。

敬具

記

1. 貸借代用担保振替確認テスト（振替実施日12月6日 業務日付8月20日）

貸借代用担保の異動申込とその振替の確認を行います。異動申込として12月2日（火）までに別添の電子化後の伝票に必要事項を記入のうえ、FAXにてご送信ください。

振替に使用する銘柄は貴社が当日、残高をお持ちの任意の銘柄とします。保振機構が定めたダミー銘柄を振替に使用されても結構です。振替する銘柄は当社への入庫2件を上限とさせていただきます。（今回のテストでは当社からの出庫は行いません。）

テスト当日、担保異動申込銘柄の振替が完了していることを保振機構端末でご確認ください。

貸借代用担保振替確認テストを行わずに、担保突合および特別株主申出簡略化に係るテストのみご参加いただくことも可能です。（下記2.参照）

なお、当社への担保異動申込は電子化後も現行と同様に伝票で行うこととなりますので大変恐縮ではございますが、ご理解とご協力の程をよろしくお願いいたします。

【担保異動例】

業務日付8月20日 貴社担保差入 業務確認テスト株式C 1,000株

業務日付8月20日の代用担保残高 業務確認テスト株式C 1,000株 下記2.で突合および報告

【伝票の記入方法】

- ・日付は平成20年8月20日とご記入ください
- ・今回、押印は不要です。
- ・機構加入者コードと委託先機構加入者コードが同じ場合は委託先機構加入者コードの記入は不要です。
- ・伝票番号欄は空欄で結構です。
- ・詳細は別添の記入例をご参照ください。

< 今回のテストでご使用いただけるダミー銘柄 >

銘柄コード	銘柄名
1550	業務確認テスト(自由)使用銘柄 - TA70 - 株式A
1558	業務確認テスト(自由)使用銘柄 - TA70 - 株式B
1566	業務確認テスト(自由)使用銘柄 - TA70 - 株式C

・振替先

中部証券金融 担保専用口 0951440

2. 担保突合および特別株主申出簡略化に係るテスト(実施日12月7日 業務日付8月21日)

上記1.で発生させた、もしくは発生させたと仮定したデータを基に担保突合および特別株主申出簡略化に係る確認テストを行います。(当社からは業務日付8月20日付の他の実データの送信は行いません。)

当社は担保受入データおよび特別株主管理事務委託状況報告データを、業務日付8月20日の残高を対象として、業務日付8月21日に保振機構へ送信いたします。(上記1.の例では業務確認テスト株式C 1,000株)

貴社におかれましては業務日付8月20日の残高を対象として、業務日付8月21日に保振機構へ担保差入データをご送信ください。(上記1.の例では業務確認テスト株式C 1,000株)

なお、電子化移行後の特別株主申出簡略化に係る委託状況報告については、当社オンラインにて把握しております貴社の累積の残高を当社から保振機構へデータ送信いたします。貴社におかれましては保振機構へ担保差入データをご送信ください。

3. 貴社がご使用になる区分口座

上記1.および2.で使用する区分口座は、平成20年6月30日付証発 第1号「株券電子化後の担保の取り扱い等について」に基づきお届けいただいた「振替株式等受払口座指定書」に記載の口座といたします。

当該届出を再度ご確認くださいとともに、変更のある場合はお早めのご連絡をお願いいたします。

4. 11月30日に保振機構が実施する高負荷・災害テストにおいて、株式等振替システムに障害が発生した場合には、第9回 業務確認テストの実施を取りやめ、高負荷・災害テストの再テストを実施する可能性があります。（詳しくは平成20年11月6日付(株)証券保管振替機構システム第一部発の「12月6日、7日の総合テスト実施について」をご参照ください。）その場合は、当該貸借代用担保に係る確認テストは中止となりますことを念のため申し添えます。

5. テスト参加申込み

12月2日（火）17時までに別添のテスト参加申込書と伝票に必要事項をご記入のうえ、FAXにてご送信ください。

以上

< 本件に関するお問合せ先 >

営業部証券課 福原・大崎

電話 052-251-1318 FAX 052-251-8986 E-mail syoken2@chusyokin.co.jp

中部証券金融株式会社
営業部 証券課 御中

提出日 平成 年 月 日
参加者名
担当者名
(電話番号)

テスト参加申込書

当社は12月6日、12月7日に行われる貸借代用担保に係る確認テストに下記のとおり参加いたします。

記

1. 貸借代用担保振替確認テスト
【実施日12月6日(業務日付8月20日)】
(差入伝票のFAX送信は必須となります。)
(A) テストに参加する
(B) テストに参加しない
2. 担保突合および特別株主申出簡略化に係る確認テスト
【実施日12月7日(業務日付8月21日)】
(上記1.の貸借代用担保振替確認テストに参加されずに2.のテストのみ参加されることも可能ですが、その場合でも差入伝票のFAX送信は必須となります。)
(A) テストに参加する
(B) テストに参加しない

以上

上記1.および2.の該当する項目を で囲んで下さい。
本テストに不参加の場合は送付の必要はございません。

【本申込書の送付先】(差入伝票と合わせてFAXにてご送付下さい)

中部証券金融株式会社 営業部 証券課(担当: 福原・大崎)
電話 052-251-1318 FAX 052-251-8986

貸借取引貸借担保金代用有価証券差入書

印 紙
不 要

	口数	数	量	伝票番号	備 考
株 券	□		株	自	
債 券	□		千円	至	

正
会員コード

後記貸借取引貸借担保金代用有価証券差入書内訳票記載の有価証券を貸借取引貸借担保金代用有価証券として貴社に差し入れます。

中部証券金融株式会社 御中 平成 年 月 日

中証金欄	証券課	課 長	初 鑑

証券会社名
代 表 者 _____ 印

入	出
1 2 3 4 5 6	
1 0 1	

貸借取引貸借担保金
代用有価証券
差入書内訳票

平成 年 月 日

No.
会員記号コード

機構加入者コード				委託先機構加入者コード			
銘柄コード	回数コード	固有名コード	銘 柄 名		数 量		千円

中証金欄	証券課	課 長	初 鑑

自己・顧客
(○で囲む)

中部証券金融株式会社

貸借取引貸借担保金代用有価証券差入書

印紙
不要

	口数	数量	伝票番号	備考
株券	1	1000	自	
債券			至	

(正)
会員コード

後記貸借取引貸借担保金代用有価証券差入書内訳票記載の有価証券を貸借取引貸借担保金代用有価証券として貴社に差し入れます。

中部証券金融株式会社 御中

平成 20 年 8 月 20 日

中 証 金 欄	証 券 課	課長	初鑑

証券会社名
代表者

貴社名

不要印

入			出		
1	2	3	4	5	6
1	0	1			

貸借取引貸借担保金
代用有価証券
差入書内訳票

平成 20 年 8 月 20 日

機構加入者コードと
相違の場合のけ記入

No.
会員記号コード

機構加入者コード		委託先機構加入者コード			
銘柄コード	回記号コード	固有名コード	銘柄名	数量	千円株
		1566	業務確認テスト 株式会社	1000	

貴社コード

中 証 金 欄	証 券 課	課長	初鑑

自己・顧客
(○で囲む)